

六道の辻

ここは「六道の辻」と呼ばれる場所で、馬場の終点あたりの（道が集まる）交差点です。この南側の地下には春日大社の神が関わる地獄があるとされています。

この地獄では、罪人であっても、春日大社と関わりがある限りにおいて、春日大社の御祭神の天児屋根命（知恵の神）が苦痛を和らげてくださると信じられています。

なお、仏教の用語で六道という語は、存在の 6 つの状態、もしくは人間の魂が死後にたどる 6 つの異なる進路を指します。仏教の信仰では、霊魂は、出生と死亡、再生というサイクルの一部として、全てではないものの、六道のうちの多くを経験し、悟りに至ると信じられています。

春日大社は、神道と仏教の信仰の両方にとって重要な聖地です。春日大社の四柱の主祭神は神道の神々としてだけでなく、仏教徒からも崇められてきました。仏教と神道は別々の宗教ですが、現在多くの日本人はこの二重の信仰を許容しています。